

「特集」ドッグショー完全攻略ガイド

ドッグショーほど、 素敵なものはない。

アジア圏で最大のドッグショー

「FCI」ジャパンインターナショナルドッグショー

2012」の開催が近づいてきました。

愛犬をショーに出すオーナーさんはもちろんのこと、

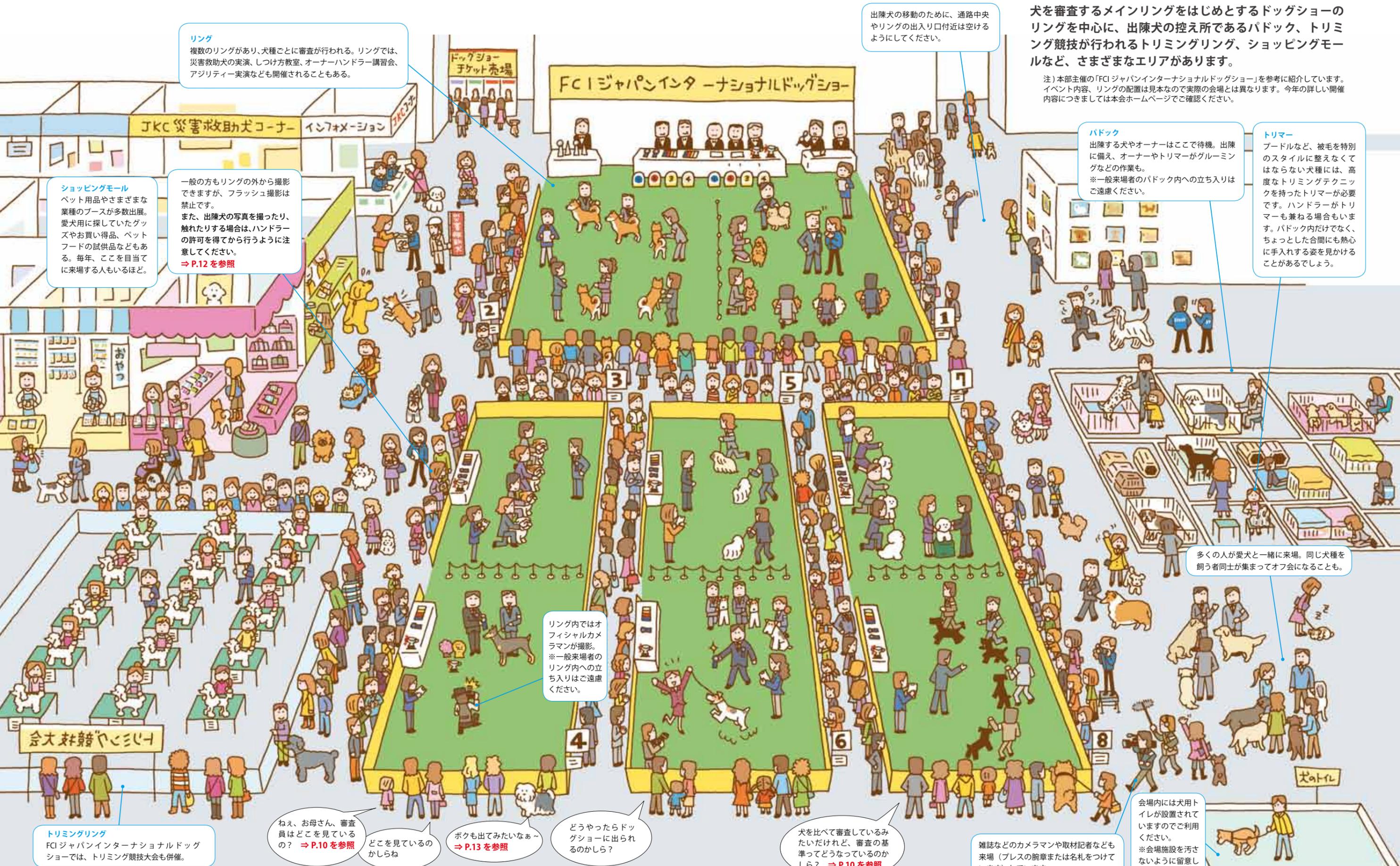
愛犬同伴で見学する人も、これから犬を飼いたいと思っている人も、

犬を愛するすべての人が楽しめるのがドッグショーです。

そこで今回は、最大限にドッグショーを楽しむための徹底ガイドをお届けします。



もっとドッグショーを楽しもう。



リング
複数のリングがあり、犬種ごとに審査が行われる。リングでは、災害救助犬の実演、しつけ方教室、オーナーハンドラー講習会、アジリティー実演なども開催されることもある。

出陳犬の移動のために、通路中央やリングの出入り口付近は空けるようにしてください。

犬を審査するメインリングをはじめとするドッグショーのリングを中心に、出陳犬の控え所であるパドック、トリミング競技が行われるトリミングリング、ショッピングモールなど、さまざまなエリアがあります。

注) 本主催の「FCI ジャパン インターナショナル ドッグショー」を参考に紹介しています。イベント内容、リングの配置は見本なので実際の会場とは異なります。今年の詳しい開催内容につきましては本会ホームページでご確認ください。

ショッピングモール
ペット用品やさまざまな業種のブースが多数出展。愛犬用に探していたグッズやお買い得品、ペットフードの試供品などもある。毎年、ここを自当てに来場する人もいます。

一般の方もリングの外から撮影できますが、フラッシュ撮影は禁止です。また、出陳犬の写真を撮ったり、触れたりする場合は、ハンドラーの許可を得てから行うように注意してください。
⇒ P.12 を参照

パドック
出陳する犬やオーナーはここで待機。出陳に備え、オーナーやトリマーがグルーミングなどの作業も。
※一般来場者のパドック内への立ち入りはご遠慮ください。

トリマー
プードルなど、被毛を特別のスタイルに整えなくてはならない犬種には、高度なトリミングテクニックを持ったトリマーが必要です。ハンドラーがトリマーも兼ねる場合もいます。パドック内だけでなく、ちょっとした合間にも熱心に手入れする姿を見かけることがあるでしょう。

リング内ではオフィシャルカメラマンが撮影。※一般来場者のリング内への立ち入りはご遠慮ください。

多くの人が愛犬と一緒に来場。同じ犬種を飼う者同士が集まってオフ会になることも。

トリミングリング
FCI ジャパン インターナショナル ドッグショーでは、トリミング競技大会も併催。

ねえ、お母さん、審査員はどこを見ているの？ ⇒ P.10 を参照

どこを見ているのかしらね

ボクも出てみたいなあ ⇒ P.13 を参照

どうやったらドッグショーに出られるのかしら？

犬を比べて審査しているみたいだけれど、審査の基準ってどうなっているのかしら？ ⇒ P.10 を参照

雑誌などのカメラマンや取材記者なども来場（プレスの腕章または名札をつけています）しています。

会場内には犬用トイレが設置されていますのでご利用ください。※会場施設を汚さないように注意してください。

150年以上の歴史をもつドッグショー

現在のようなドッグショーが、イギリスで初めて開催されたのは1859年のこと。この年、イギリスではシャーロック・ホームズの作者コナン・ドイルが生まれ、日本はまだ幕末で、安政の大獄が起こりました。

た。これが現在のケネルクラブの始まりです。
日本のドッグショーも100年の歴史

1911年に創設され、現在77カ国が加盟しているFCI(国際畜犬連盟)では「FCIワールドドッグショー」を毎年世界各地で開催、人気を集めています。

また、有名なのはイギリスの「クラフト展」とアメリカの「ウェストミンスター展」です。規模やショーの華やかさなどに違いはありますが、クラフト展は1891年から、ウェストミンスター展は1877年から続いています。

日本では1913(大正2)年に、初めてドッグショーが開催された記録が残っており、その後、日本犬界は第2次世界大戦後の低迷期を経て、1950(昭和25)年に、現在のJKCの前身である「全日本警備犬協会」の創立記念で開催した「第1回本部展覧会」の後、1979(昭和54)年にはJKCがFCI加盟を果たしたことから、1982(昭和57)年に、東京でFCIワールドドッグショーを盛大に開催しました。今日では、全国で年間220回ものドッグショーを開催するに至っています。



FCI加盟国で順に開催される「FCIワールドドッグショー」は、世界中から犬が集まる大規模なショー。



2003年ドイツ・ドルトムントで開催されたワールドドッグショーの様相。



1950(昭和25)年、上野公園で開催された「第1回本部展覧会」。

ドッグショーの意義と楽しみ

人間とともに長い歴史を歩む中で生まれた個性豊かなたくさんの犬種。ドッグショーは、犬の美しさや素晴らしさをできるだけよい形で未来へ伝えようとするものです。

純粋犬種の優れた血統を未来に

ドッグショーは、それぞれの犬種の形態や能力を保存してゆくのに必要な純粋犬種の優れた血統を後世に引き継ぎ、繁殖の指針とするために行われるもので、ドッグショーの目的は純粋犬種の保護・育成・発展です。

それぞれの犬種には、その犬種の理想像を文章で表現した「犬種標準(スタンダード)」があり、ブリーダーは、その理想像に少しでも近い犬を作出するため繁殖を繰り返すことが求められます。そしてその結果を評価するのがドッグショーです。

ドッグショーを人間のミスコンテストと同じようなものとみなされることはありませんが、まったく異なり表彰し、将来に伝えていくことが重要で、単に勝敗を競うものではありません。

犬種標準はその犬種の理想像

犬種標準は、各大種の沿革や用途、各部位、サイズ、欠点や失格事項などが文章で記載されているものです。国籍を問わず、ブリーダー、ドッグショーの審査員、ハンドラー、トリマー、オーナーなど、あらゆる関係者がよりどころにできる唯一の資料です。

文章で書かれているため、とらえ方はさまざま、審査員は自分なりの理想像をイメージし、それに従って審査します。犬と犬を比較するのではなく、審査対象の犬が理想像とどれくらい近いかを審査します。

また、犬種標準は不変ではなく、時代とともに変化します。行き過ぎを是正し、健全性に配慮しながら、より良い理想を追い求めます。

犬と人間の晴れ舞台

ドッグショーは、見学だけでもさ

さまざまな楽しみ方ができます。大規模なドッグショーでは、ふだん目にするのではない多種多様な犬種を見ることができ、犬を飼います。

たいと思っている人なら、多くの犬種の理想の姿を知ることができる貴重なチャンスです。犬種を選ぶ際にも飼育する上でも役に立つでしょう。

ドッグショーのメリット

出陣すると、愛犬の長所・短所を客観的に評価してもらえます。

愛犬の欠点をカバーできるような交配相手を探すのに役立つ。



いろいろな犬種の理想像を一度に見ることができる。

熟練のグルーミング技術やハンドリング技術を見ることができる。

知っていれば楽しさ倍増

ためになるドッグショー観戦ガイド

美しい毛をなびかせてエレガントに走る姿、きりつとした顔で立つ姿を見ているだけでも楽しめますが、ここでは観戦に役立つ豆知識をご紹介します。知っているだけで楽しさが倍増します。

人物紹介

①審査員(ジャッジ)

ドッグショーで最も重要な役割。資



格は、全犬種審査員、犬種群審査員、単犬種審査員の3種類があります。海外的審査員を迎えることも少なくありません。スーツなどのきちんとした服装が基本で、審査員バッジをつけています。審査員になるには、さまざまな条件や試験、研修などをクリアしなければなりません。

②スチュワード



審査を円滑に進める上で必要な審査員の秘書や書記的役割を担います。出陳犬の確認、審査リングへの入退場の促し、審査結果の記録などを行うなど、ショーの円滑な進行に欠かせない重要なスタッフです。

③ハンドラー



晴れの舞台で出陳犬を引き、その犬の長所を最大限に引き出し、短所を力

「あれは誰？」

④犬のオーナーと家族

ギャラリーの中には、審査中の愛犬の気持ちを乱さないよう、ギャラリーにまぎれて見守っているオーナー家族を見かけることがあります。まさに学芸会などでわが子の晴れ姿をハラハラしながら見つめている親そのものです。

⑤オフィシャルカメラマン

当日は、リング内で写真を撮影するオフィシャルカメラマンや、各種報道関係者が多数来場します。一般来場者と区別するため、オフィシャルカメラマンは、プレスのバッジや腕章を身につけています。
※一般来場者の方のリング内での撮影は禁止されています。

⑩リボン



ブリード審査(10ページ参照)で入賞すると席次リボンが授与されます。リボンは色で区別され、第一席(青)、第二席(赤)、第三席(黄)、第四席(白)となっています。また、FCI展では、席次リボンの他に評価リボンも授与されます。

⑪バイト(おやつ)



ハンドラーが、犬の気を引きたいときに使用します。バイトには、その犬の好物を使うことが多く、たとえば牛のレバーを茹でて焼いたものなどで、ちぎって使います。バイトの代わりにおもちゃを使うこともありますが、審査員も、バイトや口笛などで犬の気を引き、犬の顔を審査することがあります。

⑫出陳目録

ショーカタログともいうべきもので、出陳犬のプロフィール(名前、生年月日、両親名、ブリーダー名、オーナー名など)、審査スケジュール、会場案内図、審査員プロフィールなど、ドッグショーを楽しむのに必要なすべての情報を網羅。インフォメーションで販売しています。

小物紹介

小型の犬の視番や触番の際は、審査台に犬を乗せて行きます。

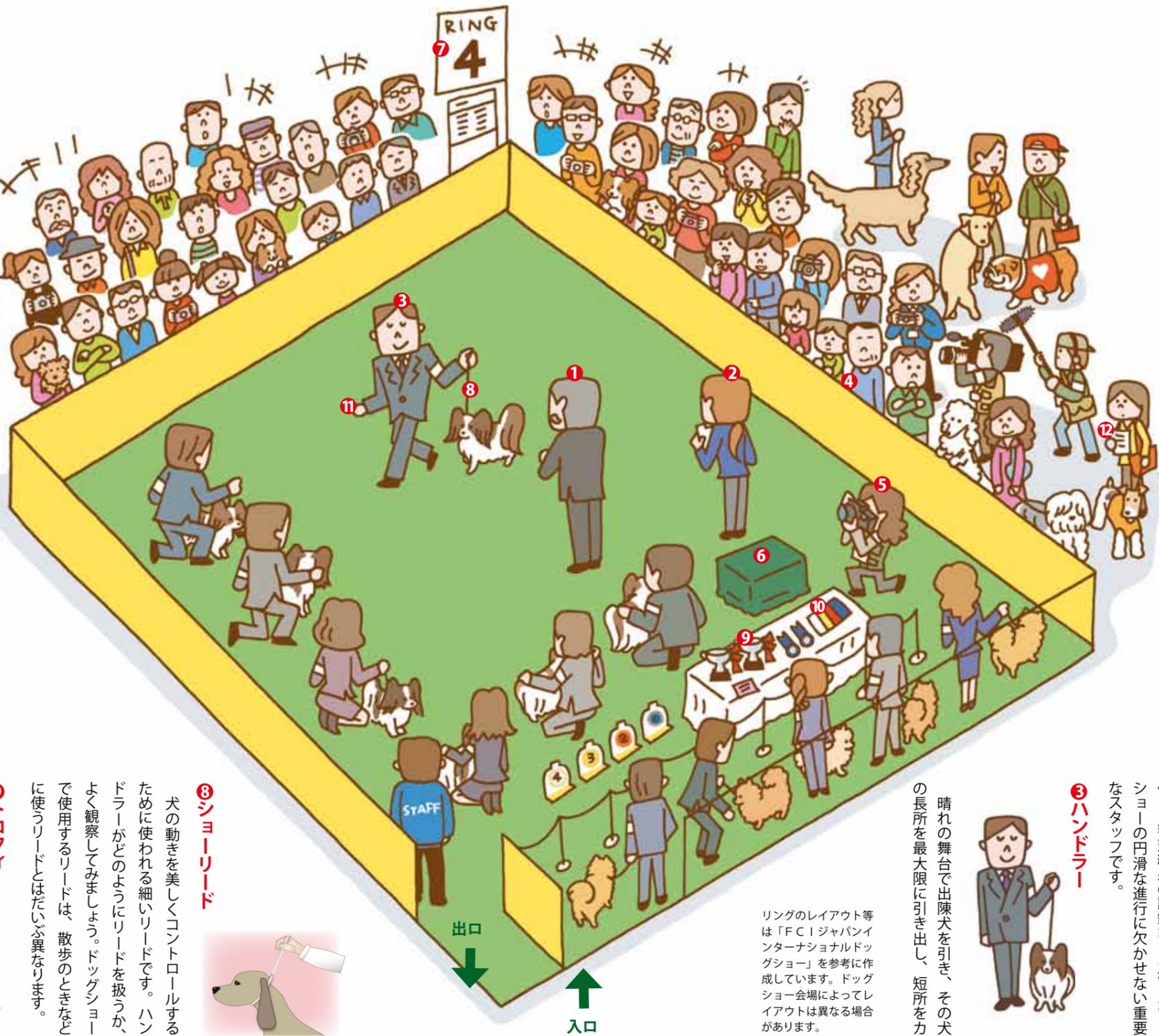


リングごとの細かい審査スケジュールが、各リング看板付近に掲示されます。



⑥審査台

⑦スケジュール表



リングのレイアウト等は「FCIジャパンインターナショナルドッグショー」を参考に作成しています。ドッグショー会場によってレイアウトは異なる場合があります。

⑧ショーリード



犬の動きを美しくコントロールするために使われる細いリードです。ハンドラーがどのようにリードを扱うか、よく観察してみましょう。ドッグショーで使用されるリードは、散歩のときなどに使うリードとはだいぶ異なります。

⑨トロフィー



ドッグショーで最も評価の高い犬に与えられます。各犬種のNO.1に与えられるBOB(ベストオブブリード)や、ドッグショーにおけるNO.1であるBIS(ベストインショー)に与えられるものがあります。

審査員はここを見ている

審査のルールとポイントを知ろう

審査の流れ

犬は出陳番号順にリングに入っており、並び、全犬でリング内を回ったあと、1頭ずつ視審・触審・歩様審査を受けます。その後、全犬が整理して最終チェックを受け、席次が発表されます。

①視審

立ち姿を審査します。体全体のバランスやコンディションなどを、さまざまな角度から確認します。

②触審

骨格、筋肉のつき方、被毛の状態、

睾丸の有無などを、実際に触ってチェックします。歯列や咬み合わせなども確認します。

③歩様審査

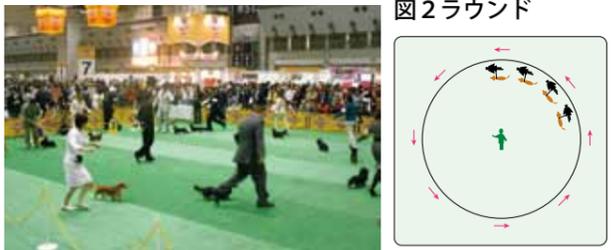
トライアングル(図1)・三角形に歩くやラウンド(図2)・リング内を回るとして歩く姿をチェックし、動作に現れる体の状態や、視審・触審での印象を確認します。

審査員がチェックする6つのポイント

ドッグショーの審査員は、犬が犬



イラストのように三角形に歩く。



イラストのようにリングを円形に回る。

種標準から導き出した理想の姿をどのくらい満たしているかを審査しますが、そのとき、次の6つのポイントから犬をチェックしています。

①タイプ

その犬種の特徴を示す特質、つまりその犬種ならではの外貌、体型、性質などがあらわれているかどうかをチェックします。

②クオリティ

タイプで求められる犬種の特徴が、どのくらい充実して洗練されているか、つまりその犬種ならではの特色がどのくらい魅力的に発揮されているかを審査します。

③サウンドネス

精神的にも肉体的にも健全であるかをチェックします。おびえや過度の攻撃性がみられないか、骨格や筋肉の状態、歯の咬み合わせは正常かどうかなどを確認します。

④バランス

全体的なバランスをみます。一部分が優れているよりも、全体的に調和がとれていることが重要で、その犬の魅力となっていることが大切です。

⑤コンディション

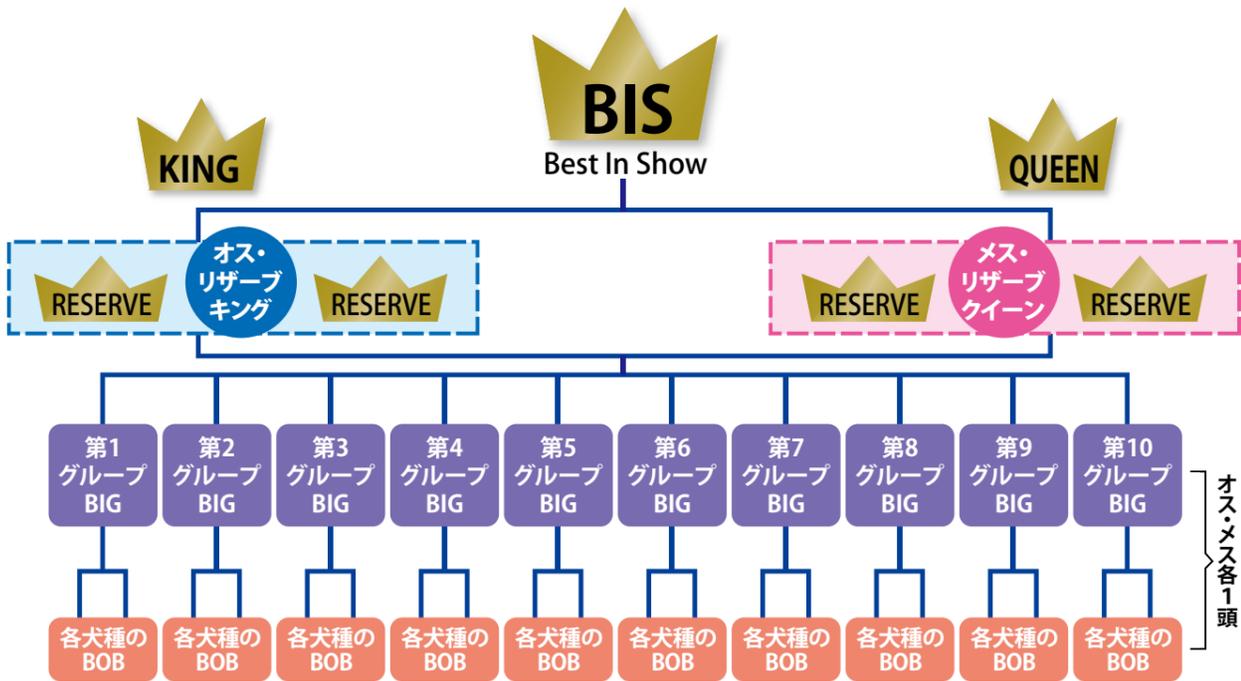
その日の健康状態や精神状態のこと、ショーへ向けての体調を調整することが求められます。

異なる犬種でも審査できる理由とは

全犬種展では、最初に同じ犬種の中からオス・メス1頭ずつをBOB(ベストオブブリード)として選び、次に、BOBを獲得した犬をグループごとに審査(第10グループまであります)、オス・メス1頭ずつをBIG(ベストイングループ)に選びます。

次に、オス・メス10頭ずつのBIGの中からオスの最高賞(キング)とメスの最高賞(クイーン)を選び、最後にどちらかをBIS(ベストインショー)に選びます。

ドッグショーでは異なる犬種も一緒に審査されますが、犬同士を比較して審査するのではなく、犬種標準にどのくらい近いかを審査するため、異なる犬種でも同一リング内で審査することが可能です。



※一般的に「ベストインショー」はチャンピオンシップショーでの「BIS」を指し、「パピーのBIS」とは区別します。

<p>第1グループ シープドッグ&キャトルドッグ (ウェルシュ・コーギー・ペンブローク、ジャーマン・シェパード・ドッグ、ラフ・コリーなど) 家畜の群れを誘導・保護する犬</p>
<p>第2グループ ピンシャー&シュナウザー、モロシアンタイプ、スイス・マウンテン・ドッグ&スイス・キャトル・ドッグ、関連犬種 (ミニチュア・シュナウザー、ボクサー、マスティフなど) 番犬、警護、作業をする犬</p>
<p>第3グループ テリア (エアデール・テリア、ヨークシャー・テリアなど) 穴の中に住むキツネなど小型獣用の猟犬</p>
<p>第4グループ ダックスフンド (ミニチュア・ダックス、カニンヘン・ダックスなど) 地面の穴に住むアナグマや兎用の猟犬</p>
<p>第5グループ スピッツ&プリミティブ・タイプ (秋田、サモエド、シベリアン・ハスキーなど) 日本犬を含む、スピッツ(尖ったの意)系の犬</p>
<p>第6グループ セントハウンド&関連犬種 (ビーグル、バセット・ハウンド、ダルメシアンなど) 大きな吠声と優れた嗅覚で獲物を追う獣猟犬</p>

<p>第7グループ ポインティング・ドッグ (イングリッシュ・ポインター、アイリッシュ・セターなど) 獲物を探し出し、その位置を静かに示す猟犬</p>
<p>第8グループ レトリバー、フラッシング・ドッグ、ウォーター・ドッグ (ラブラドル・レトリバー、アメリカン・コッカー・スパニエルなど) 7グループ以外の鳥猟犬</p>
<p>第9グループ コンパニオン・ドッグ&トイ・ドッグ (チワワ、プードル、パピヨンなど) 家庭犬、伴侶や愛玩目的の犬</p>
<p>第10グループ サイトハウンド (アフガン・ハウンド、ボルゾイ、イタリアン・グレーハウンドなど) 優れた視覚と走力で獲物を追跡捕獲する犬</p>

チャンピオン犬とは
ひとつのドッグショーでBIS(ベストインショー)に選ばれても、チャンピオン犬とはいきません。2名以上の異なる審査員から、犬質の良い個体として4回選ばれて初めて「チャンピオン犬」になります。チャンピオンという称号は犬種標準に近いことを示すもので、繁殖犬としての高い質が保証されます。

もつとドッグショーを 楽しむための攻略方法&マナー

※3月31日・4月1日に開催される「FCIジャパンインターナショナルドッグショー」をモデルとしています。

事前準備

STEP 1

JKCのホームページでスケジュールをチェック!!



気になる犬種の審査日、イベントをしつかり確認。
優先順位をつけて当日効率よく回るようにしておきましょう。

STEP 2

あると便利! 当日の持ち物を準備



リスト

- ・犬のおやつ ・水 ・水入れ
- ・防寒具 ・マスク ・筆記用具
- ・カメラ ・買物バッグ
- ・JKC会員証 ・会報コピー
- ・愛犬の紹介カード
- ・入場チケットとクーポン券

チケットを購入、さっそく会場内へ

まずはJKCコーナー/インフォメーションへ



当日の細かいスケジュールを確認、出陳目録(9ページ参照はこちらで購入できます)。

フリード審査見学

同じ犬種をたくさん見られるのは午前中だけ!!
お目当ての犬種を見逃さないように各リングの様子をこまめにチェックしましょう。

グループ審査前にひと休み



会場内には休憩所はないので、一度外に出てお近くの施設をご利用ください。
犬連れの方は駐車場の出口から外に出ることができません。チケットは再入場の際に必要なのでなくさないように。
楽しいお買い物も
ドッグショー会場で見逃せないのがブリーディングエリア。犬グッズはもちろん、普段あまり見られないグッズがたくさんあるので、ぜひ立ち寄ってみましょう。



グループ審査見学

15:00より優れた犬を見たい人は、グループ選から最後のファイナルまでぜひ見学したいもの。
18:00・BIS決定!!

終了

※BIS選は2日目のみとなりますのでご注意ください。

見学のマナー

【撮影について】

- ★一般の方が個人的にその写真を利用する場合、ショーの様態を撮影することは自由ですが、商品化・報酬を得る目的で写真やビデオ撮影をする場合は、事前に主催者の許可を得てください。
- ★特定の犬の写真撮影したい場合は、あらかじめその犬のハンドラーまたは所有者に撮影目的などを伝えて了解を得てください。
- ★審査中やリング近くで待機中の犬を撮影する場合は、審査に影響することがないようにフラッシュを使用することは禁止されていますので、ご注意ください。
- ★リングの中には入らないでください。
- ★表彰写真は、主催者指定のオフィシャルカメラマンが撮影します。一般ギャラリーの方はご遠慮ください。

【愛犬同伴の際には】

- ★発情中のメス、犬・人に対して攻撃性のある犬、皮膚病および感染性の疾患など健康上の危惧のある犬は同伴できません。
- ★ショー会場以外の施設内、通路、飲食店などに犬を連れて入らないでください。
- ★犬連れの方は駐車場側の入口から入場してください。
- ★駐車場に愛犬を残したまま来場しないでください。
- ★狂犬病予防注射を受けていない犬の入場はできません。

- ★出陳犬と接触させないようにお願いします。
- ★不特定多数の犬が集まる場ですから、愛犬の管理をしっかりとお願いします。犬同士、犬と人との事故やトラブルがないよう十分注意し、飼い主の責任において対処してください。
- ★愛犬の排泄物はビニール袋などに入れ、必ずお持ち帰りください。駐車場等に排泄物を放置することは厳禁です。
- ★会場内に犬用トイレが設置されているのでそちらをご利用ください。排尿については、犬用トイレ以外ではさせないでください。
- ★会場施設を汚さないよう留意してください。万が一の粗相に備え、トイレシートや消臭剤などを持参し、汚してしまったときは拭き取り、排泄臭を残さないよう後始末をしてください。オス犬の場合はマーキング防止用マナーベルトを着用するのもひとつの方法です。

【その他】

- ★リング周辺、通路などで見学者の通行を妨げたり、ハンドラー、ショーダンサー、ショー関係者の専用通路に進入するなど、通行の妨げになる行為はしないでください。
- ★出陳犬に触れたい場合は、必ずハンドラーや所有者に了解を得てからにしてください。

お目当ての犬種の審査を観戦したり、多彩なイベントを効率よく回って楽しむためにも、スケジュールを事前に確認して計画を立てておくとうよいでしょう。

愛犬とドッグショーに参加してみよう

JKC会員なら、誰でも参加できる

「ドッグショーに出ている犬は特別な犬とされている人もいますが、飼い主さんに連れられてドッグショーに遊びに来ている犬の中にも、ドッグショーに出せばいい成績が取れそうだなと思える犬がけっこういますよ。愛犬と一緒にハンドリングのトレーニングをすれば、また別の楽しみが広がります」。ある全犬種審査員はそう話します。

では、どうすれば愛犬をドッグショーに出陳できるのでしょうか。JKC関連のドッグショーであれば、基本的に、
①出陳者がJKCの会員であること
②出陳する犬が、出陳者の名義になっ

ていること
という2つの条件を満たしていれば出陳できます。ただし、咬み癖のある犬、発情犬、皮膚病・感染症などの健康上問題がある犬は出陳できません。

トレーニングや準備を始めよう

ドッグショーに出陳するにはさま

ざまなトレーニングが欠かせません。まずは愛犬をショーリードに慣れさせ、ショーリードをつけているときは座らない、勝手に動きまわらないなどのマナーを教えます。

また、審査員に体を触られても動じないなどのショーマナーも教える必要があります。
さらにハンドリングの実際は、クラブ連合会展などで開催される無料のオーナーハンドラー講習会を受講するとよいでしょう。ドッグショーで、愛犬と同じ犬種のリングをじっくり観察するのもとても役立ちます。そのほか、ブードル、テリア、シユナウザーなどの場合は、ショーに向けて特別な手入れ(トリミング)が必要になります。手入れ方法などについてもしっかりと学びましょう。

◆初めて出陳するうえで疑問点や不明なことがありますら、社団法人ジャパンケネルクラブ展覧会事業課にお問い合わせてください。
社団法人ジャパンケネルクラブ
展覧会事業課
電話 03-3251-1652

ハンドリングに挑戦してみよう

オーナーハンドラー講習会参加要領

オーナーハンドラー講習会は、クラブ連合会展の会場で行います。実技を中心に、所要1時間程度になります。詳しい会場については、各クラブ

ブ連合会にお問い合わせてください。
■参加者条件...JKC会員、またはその家族。ただし、ドッグショーでハンドリングしている方、すでに受講したことのある方はご遠慮ください。

■受講申込み方法...クラブ連合会展当日、各会場で行います。※参加者が20名を超えた場合は、スケジュールの関係でお断りすることもあります。あらかじめご了承ください。

※講習会で使うモデル犬は、JKC登録犬で、参加者自身が連れてくること。犬については各自の責任において管理してください。
※次に該当する犬はご来場をお断りいたします。●妊娠中・発情中の牝犬 ●咬み癖のある犬 ●皮膚病などの健康上問題のある犬

オーナーハンドラー講習会開催予定のクラブ連合会展予定(4~6月)

- 4月8日(日) 神奈川北クラブ連合会展
- 4月22日(日) 東京都下クラブ連合会展
- 4月29日(日) 横浜クラブ連合会展
- 5月12日(土) 滋賀県クラブ連合会展
- 6月3日(日) 富山県クラブ連合会展
- 6月30日(土) 愛知県クラブ連合会展

